

【 目次 】

- 1 人口等の推移
 - 2 県内14市人口等の状況
 - 3 町別人口構成の推移
 - 4 年齢（3区分）別人口・構成の推移
 - 5 人口ピラミッド
 - 6 年齢別配偶関係と未婚率の推移
 - 7 総世帯数及び1世帯当たり人員の推移
 - 8 世帯人員別一般世帯数の推移
 - 9 家族類型別一般世帯数の推移
 - 10 65歳以上の世帯員のいる一般世帯数の推移
 - 11 外国人人口
- 参考1 町別人口等と5年間の増減
- 参考2 町別人口と増減率の推移

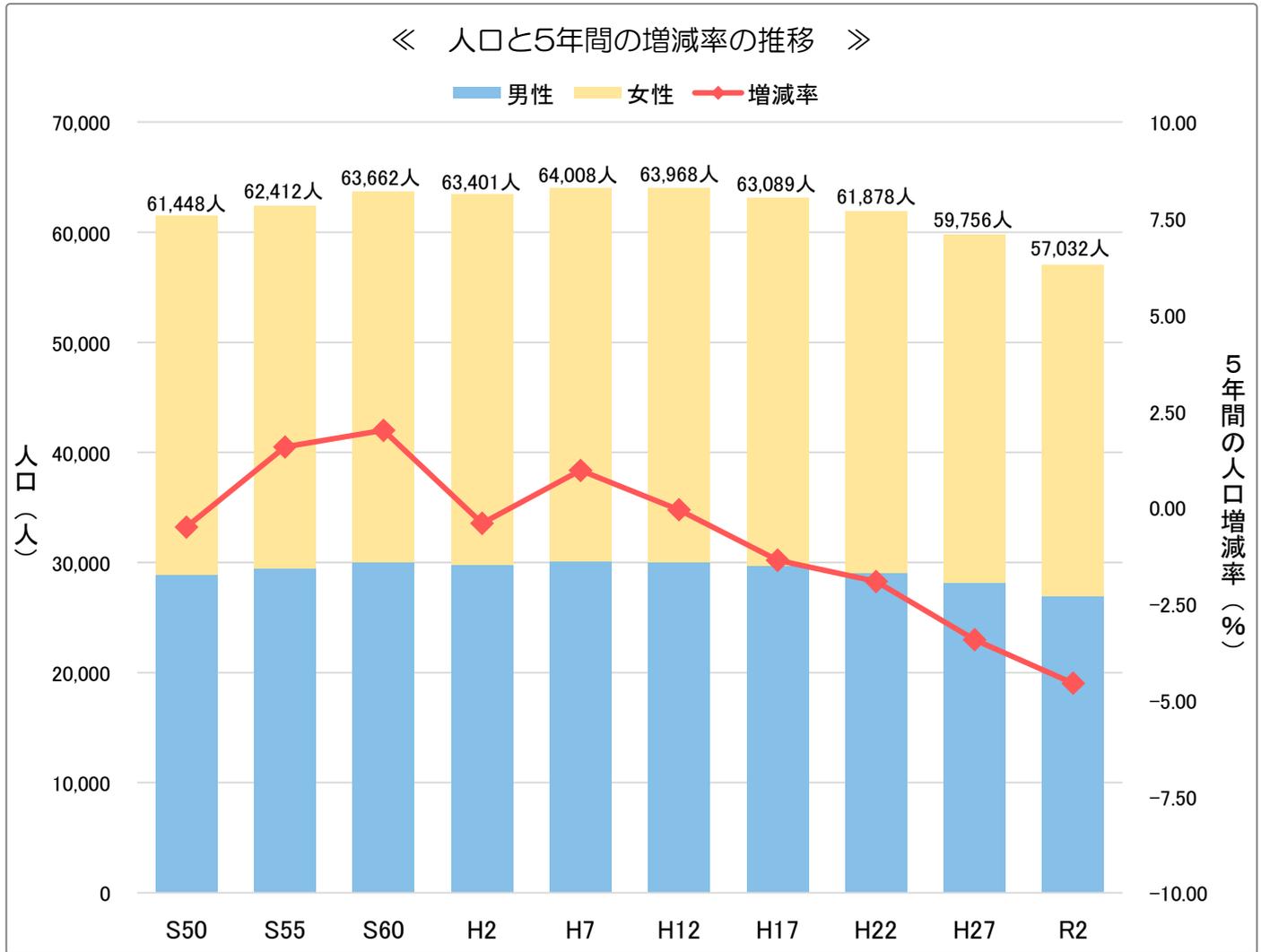
— 利用上の注意 —

1. この結果は、令和2年10月1日現在で行われた令和2年国勢調査の調査票を集計した人口等基本集計結果（令和3年11月30日総務省統計局から公表）を基に集計しています。
詳細な結果は、下記URL（総務省統計局）を参照してください。
URL：<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/kekka.html>
2. 平成12年以前の数値は、合併前5町の合算値を表示しています。
3. 割合は、特に注記のない限り、分母から不詳を除いて算出しています。
4. 小数点以下の数値について、特に標記のないものは小数点以下第3位を四捨五入しています。
そのため、構成比・割合の合計は必ずしも総数（100%）とならない場合があります。

【 人口等の推移 】

宇城市の人口は、男性26,991人、女性30,041人の57,032人で、前回の平成27年調査から2,724人（4.56%）減少しました。

人口増減率の推移をみると、前回調査から1.13ポイント低下しており、平成7年以降低下を続けています。



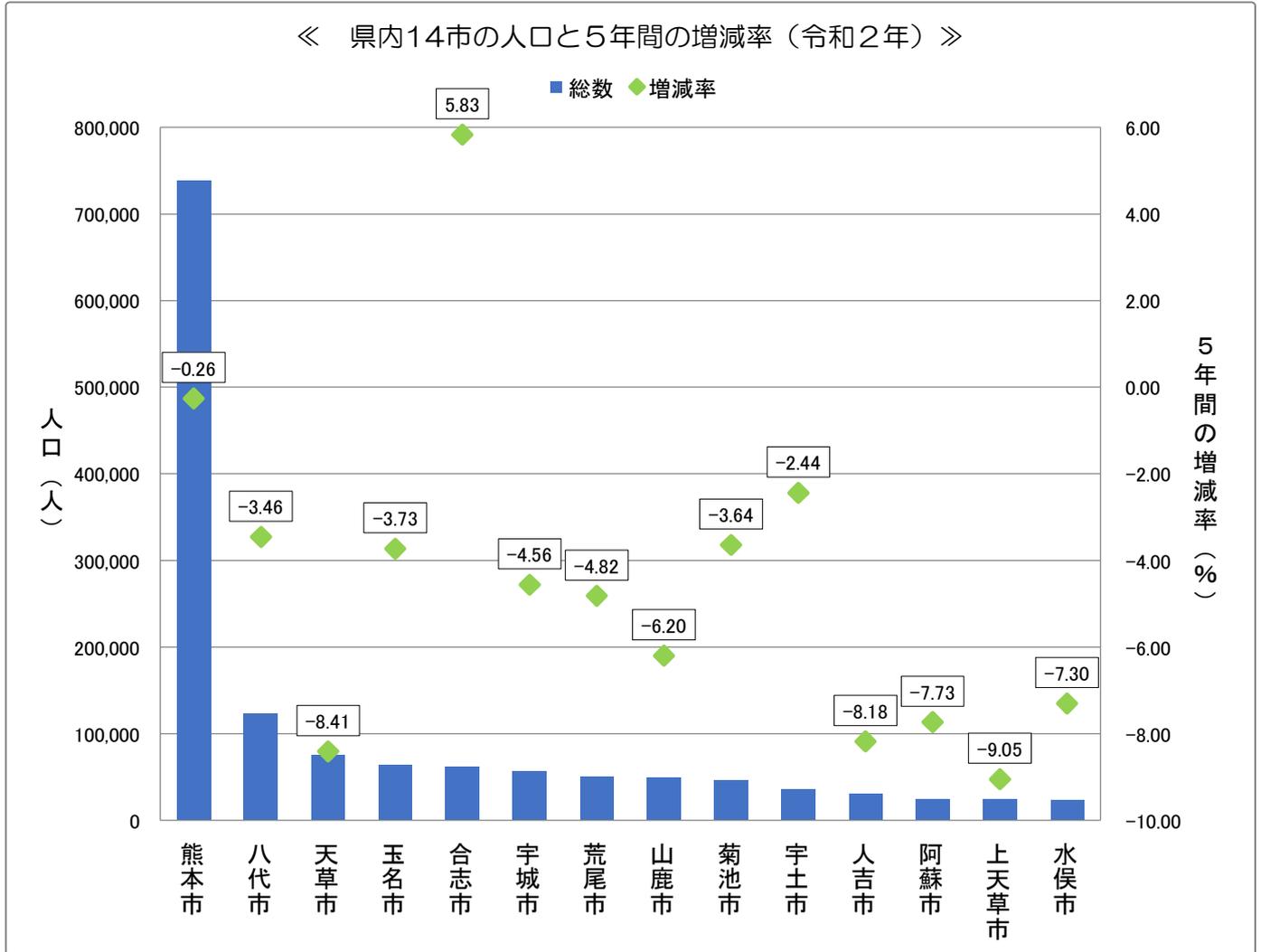
○人口等の推移

年	人口(人)			5年間の人口増減		総世帯数 (世帯)	1世帯当 り人員(人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
	総数	男性	女性	増減数(人)	増減率(%)				
昭和50年	61,448	28,862	32,586	△ 318	△ 0.51	15,528	3.96	189.13	324.90
昭和55年	62,412	29,479	32,933	964	1.57	16,337	3.82	189.13	330.00
昭和60年	63,662	30,036	33,626	1,250	2.00	17,174	3.71	189.27	336.36
平成2年	63,401	29,765	33,636	△ 261	△ 0.41	17,916	3.54	188.50	336.34
平成7年	64,008	30,102	33,906	607	0.96	18,912	3.38	188.50	339.56
平成12年	63,968	30,036	33,932	△ 40	△ 0.06	19,951	3.21	188.51	339.33
平成17年	63,089	29,693	33,396	△ 879	△ 1.37	20,643	3.06	188.55	334.60
平成22年	61,878	29,031	32,847	△ 1,211	△ 1.92	21,077	2.94	188.56	328.16
平成27年	59,756	28,121	31,635	△ 2,122	△ 3.43	21,432	2.79	188.61	316.82
令和2年	57,032	26,991	30,041	△ 2,724	△ 4.56	21,535	2.65	188.61	302.38

【 県内14市の人口等（令和2年） 】

県内14市別で人口をみると、熊本市が738,865人で最も多く、最も少ない水俣市が23,557人、宇城市は57,032人で6番目に多い人口となっています。

また、平成27年調査からの人口増減率をみると、合志市のみ5.83%の増となっていますが、その他の市は減少となっています。熊本市の人口については、国勢調査開始以来初めての減少となりました。



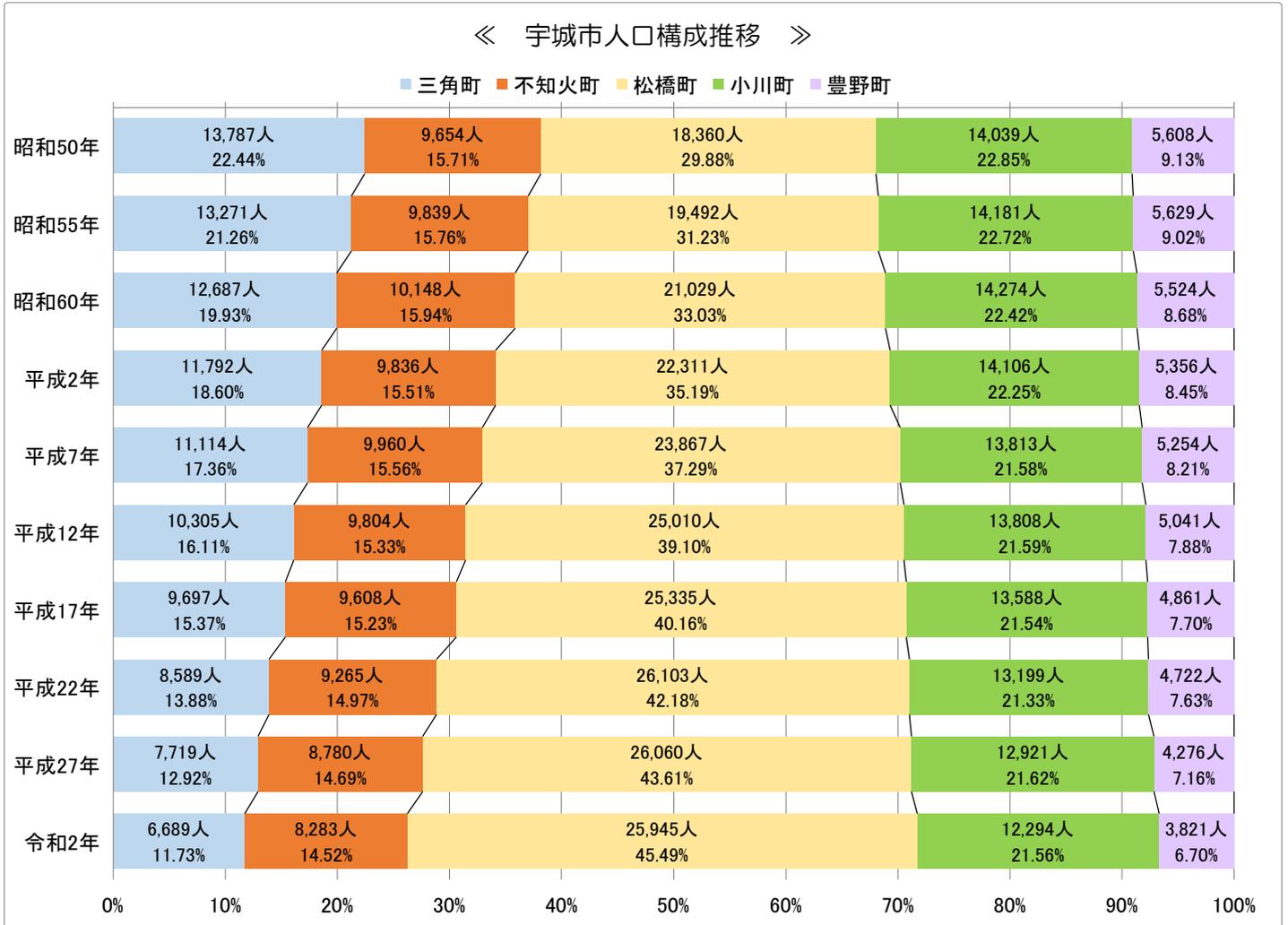
○県内14市の人口等の状況（令和2年）

	人口(人)			5年間の人口増減		総世帯数 (世帯)	1世帯当たり 人員(人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
	総数	男性	女性	増減数(人)	増減率(%)				
熊本市	738,865	349,115	389,750	△ 1,957	△ 0.26	326,920	2.26	390.32	1,892.97
八代市	123,067	57,298	65,769	△ 4,405	△ 3.46	49,204	2.50	681.36	180.62
天草市	75,783	35,420	40,363	△ 6,956	△ 8.41	31,873	2.38	683.82	110.82
玉名市	64,292	30,410	33,882	△ 2,490	△ 3.73	25,278	2.54	152.60	421.31
合志市	61,772	29,702	32,070	3,402	5.83	22,283	2.77	53.19	1,161.35
宇城市	57,032	26,991	30,041	△ 2,724	△ 4.56	21,535	2.65	188.61	302.38
荒尾市	50,832	23,900	26,932	△ 2,575	△ 4.82	20,783	2.45	57.37	886.04
山鹿市	49,025	23,000	26,025	△ 3,239	△ 6.20	19,085	2.57	299.69	163.59
菊池市	46,416	22,076	24,340	△ 1,751	△ 3.64	17,593	2.64	276.85	167.66
宇土市	36,122	17,272	18,850	△ 904	△ 2.44	13,499	2.68	74.30	486.16
人吉市	31,108	14,363	16,745	△ 2,772	△ 8.18	13,288	2.34	210.55	147.75
阿蘇市	24,930	11,763	13,167	△ 2,088	△ 7.73	9,987	2.50	376.30	66.25
上天草市	24,563	11,502	13,061	△ 2,443	△ 9.05	10,034	2.45	126.94	193.50
水俣市	23,557	10,913	12,644	△ 1,854	△ 7.30	10,123	2.33	163.29	144.26

【 町別人口構成の推移 】

市の人口構成割合を町別にみると、松橋町が25,945人（45.49%）と最も多く、半数近くを占めており、その割合は年々高くなっています。

一方で、昭和50年と比較して三角町は10.71ポイント低下、豊野町は2.43ポイント低下と低くなり続けています。



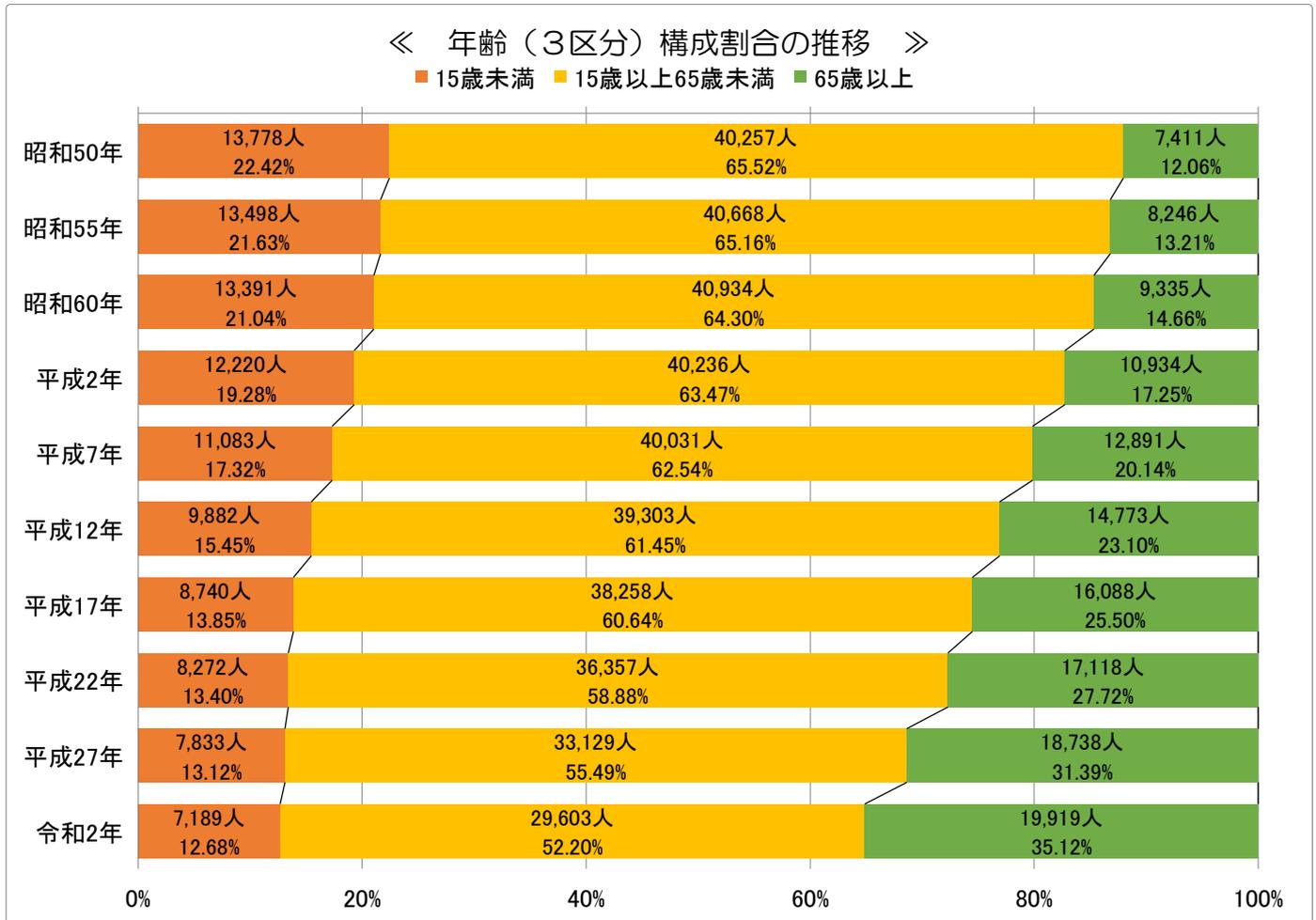
○町別人口構成割合の推移

年	宇城市		三角町		不知火町		松橋町		小川町		豊野町	
	人口(人)	構成割合(%)	人口(人)	構成割合(%)								
昭和50年	61,448		13,787	22.44	9,654	15.71	18,360	29.88	14,039	22.85	5,608	9.13
昭和55年	62,412		13,271	21.26	9,839	15.76	19,492	31.23	14,181	22.72	5,629	9.02
昭和60年	63,662		12,687	19.93	10,148	15.94	21,029	33.03	14,274	22.42	5,524	8.68
平成2年	63,401		11,792	18.60	9,836	15.51	22,311	35.19	14,106	22.25	5,356	8.45
平成7年	64,008		11,114	17.36	9,960	15.56	23,867	37.29	13,813	21.58	5,254	8.21
平成12年	63,968		10,305	16.11	9,804	15.33	25,010	39.10	13,808	21.59	5,041	7.88
平成17年	63,089		9,697	15.37	9,608	15.23	25,335	40.16	13,588	21.54	4,861	7.70
平成22年	61,878		8,589	13.88	9,265	14.97	26,103	42.18	13,199	21.33	4,722	7.63
平成27年	59,756		7,719	12.92	8,780	14.69	26,060	43.61	12,921	21.62	4,276	7.16
令和2年	57,032		6,689	11.73	8,283	14.52	25,945	45.49	12,294	21.56	3,821	6.70

【 年齢（3区分）別人口・構成割合の推移 】

年齢（3区分）別の人口と構成割合をみると、15歳未満人口は7,189人（12.68%）、15～64歳人口は29,603人（52.20%）、65歳以上人口は19,919人（35.12%）となっています。

昭和50年調査以降、15歳未満人口と15歳以上65歳未満人口割合の低下が続いている一方で、65歳以上人口の割合は上昇を続けており、高齢化が進んでいます。



【参考】高齢化を示す指標	
高齢化社会	65歳以上人口の割合が7%以上
高齢社会	65歳以上人口の割合が14%以上
超高齢社会	65歳以上人口の割合が21%以上

○年齢(3区分)別人口の推移 (単位：人)

年	総数	15歳未満	15歳以上65歳未満	65歳以上	年齢不詳
昭和50年	61,448	13,778	40,257	7,411	2
昭和55年	62,412	13,498	40,668	8,246	0
昭和60年	63,662	13,391	40,934	9,335	2
平成2年	63,401	12,220	40,236	10,934	11
平成7年	64,008	11,083	40,031	12,891	3
平成12年	63,968	9,882	39,303	14,773	10
平成17年	63,089	8,740	38,258	16,088	3
平成22年	61,878	8,272	36,357	17,118	131
平成27年	59,756	7,833	33,129	18,738	56
令和2年	57,032	7,189	29,603	19,919	321

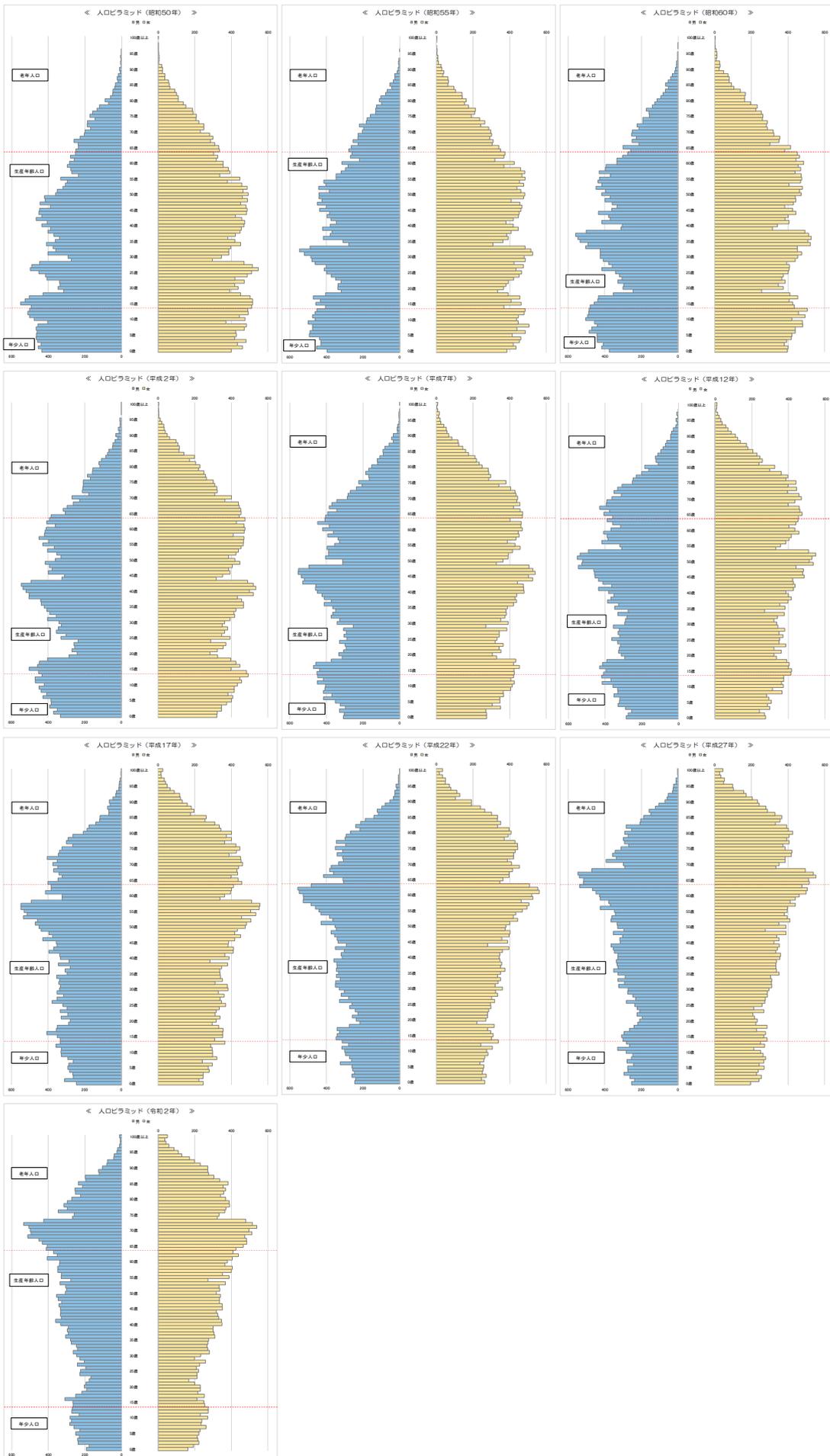
○年齢(3区分)別割合の推移 (単位：%)

年	15歳未満	15歳以上65歳未満	65歳以上
昭和50年	22.42	65.52	12.06
昭和55年	21.63	65.16	13.21
昭和60年	21.04	64.30	14.66
平成2年	19.28	63.47	17.25
平成7年	17.32	62.54	20.14
平成12年	15.45	61.45	23.10
平成17年	13.85	60.64	25.50
平成22年	13.40	58.88	27.72
平成27年	13.12	55.49	31.39
令和2年	12.68	52.20	35.12

※割合は、年齢不詳を除いて算出

【 人口ピラミッド 】

昭和50年からの調査結果を人口ピラミッドで比較してみると、次のようになります。年少人口の減少、老年人口の増加により「つりがね型」から「つぼ型」へ変化していることがわかります。

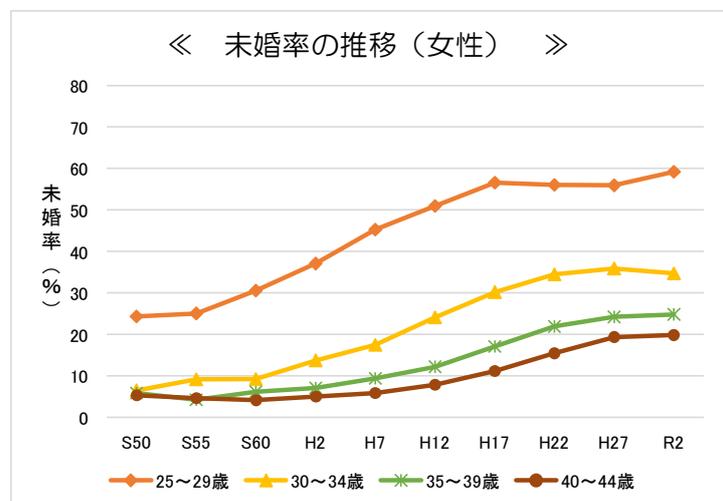
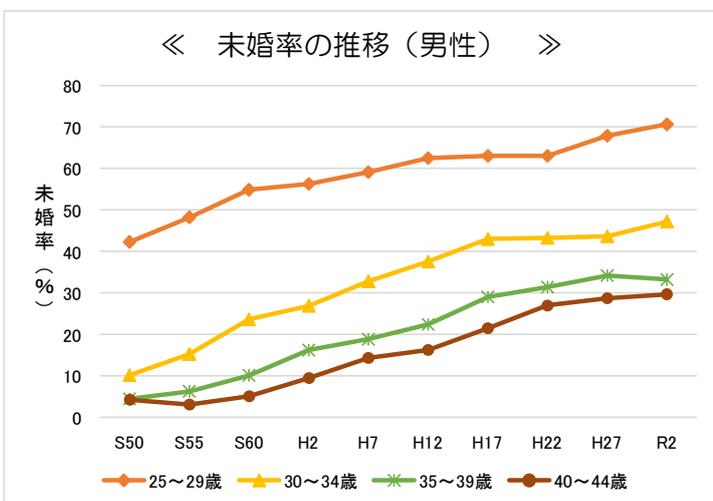
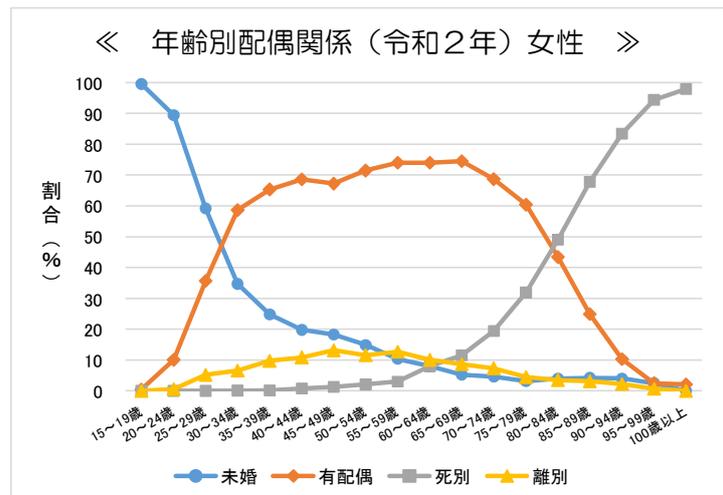
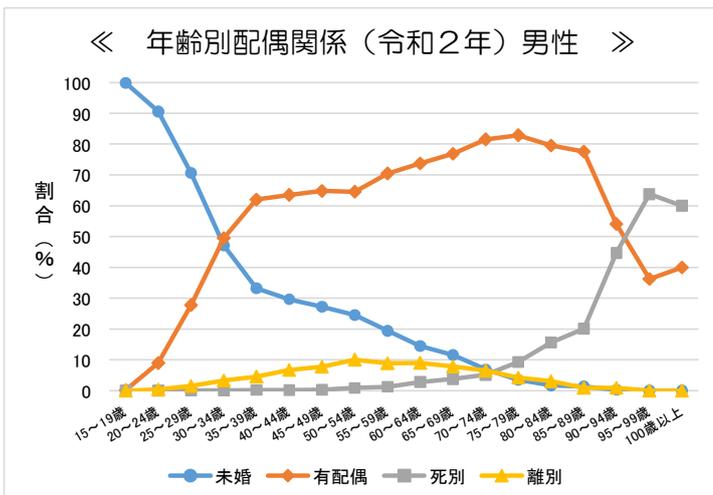
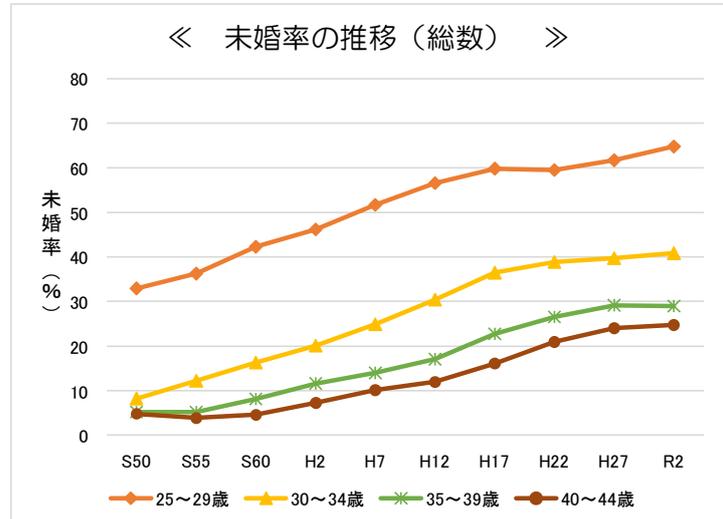
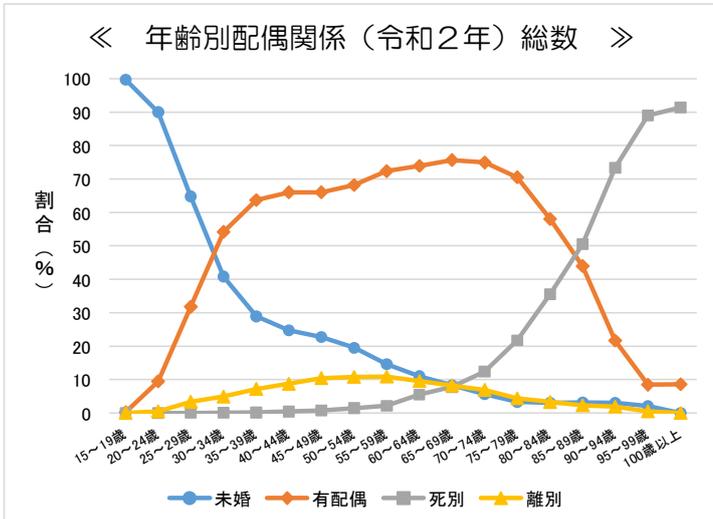


【 年齢別配偶関係と未婚率の推移 】

年齢別配偶関係をみると、男性は75～79歳（82.35%）、女性は65～69歳（74.04%）で「有配偶」の割合が最も高くなっています。

また、「有配偶」の割合が「未婚」の割合を上回るのは、男性、女性ともに30～34歳以上の年齢階級となっています。

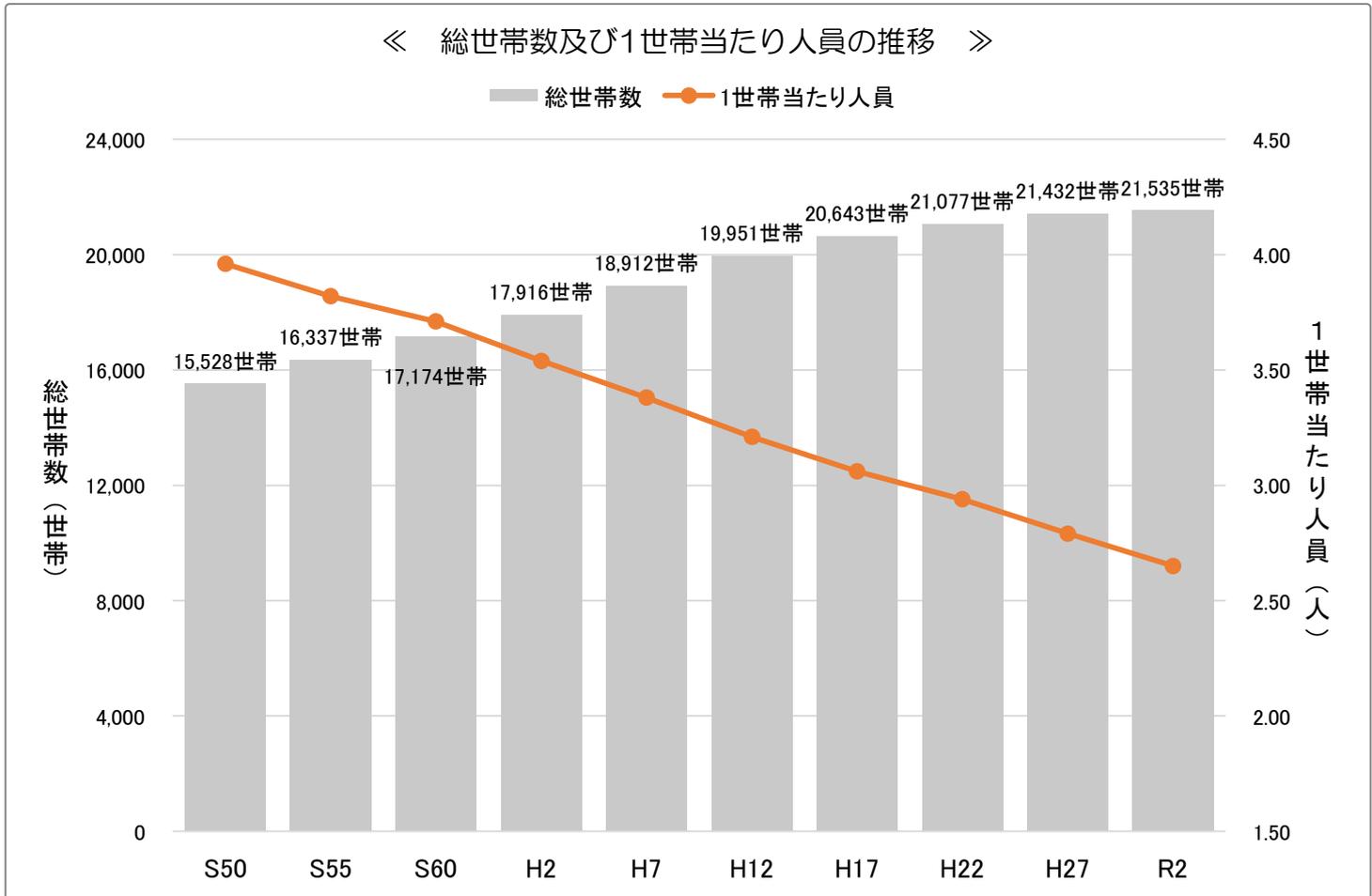
未婚率の推移をみると、男性、女性ともに25～29歳の未婚率が高い傾向があり、前回調査に続いて上昇しています。



【 総世帯数及び1世帯当たり人員の推移 】

総世帯数は21,535世帯で前回調査より103世帯（0.48%）の増となっており、一貫して増加しています。

一方、1世帯当たり人員は2.65人で前回より0.14人（5.02%）の減と、減少が続いています。



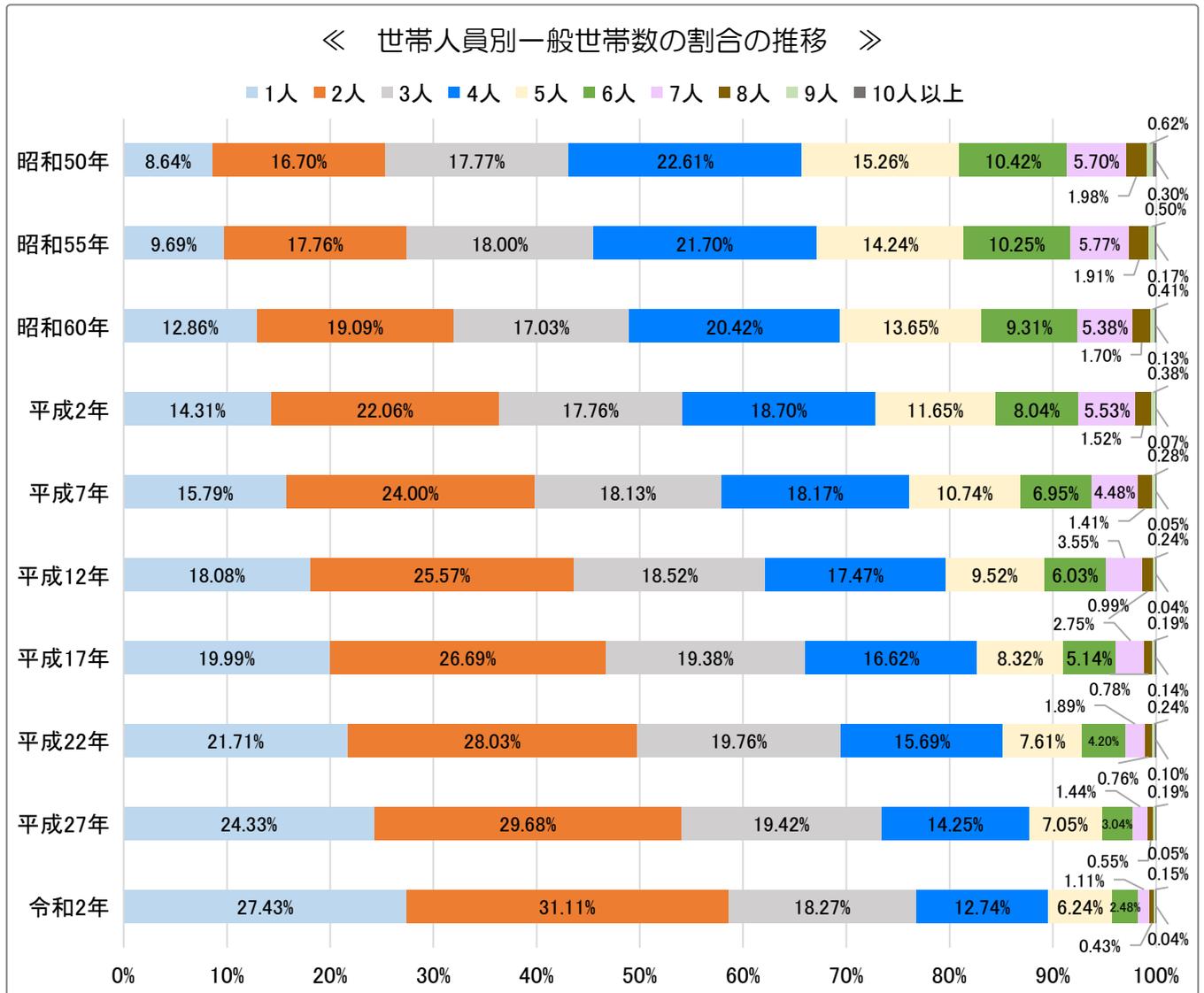
○総世帯数、1世帯当たり人員の推移

年	総世帯数 (世帯)	1世帯当たり 人員 (人)	5年間の世帯数増減		5年間の世帯当たり人員増減	
			増減数(世帯)	増減率(%)	増減数(人)	増減率(%)
昭和50年	15,528	3.96	829	5.64	△ 0.24	△ 5.71
昭和55年	16,337	3.82	809	5.21	△ 0.14	△ 3.54
昭和60年	17,174	3.71	837	5.12	△ 0.11	△ 2.88
平成2年	17,916	3.54	742	4.32	△ 0.17	△ 4.58
平成7年	18,912	3.38	996	5.56	△ 0.16	△ 4.52
平成12年	19,951	3.21	1,039	5.49	△ 0.17	△ 5.03
平成17年	20,643	3.06	692	3.47	△ 0.15	△ 4.67
平成22年	21,077	2.94	434	2.10	△ 0.12	△ 3.92
平成27年	21,432	2.79	355	1.68	△ 0.15	△ 5.10
令和2年	21,535	2.65	103	0.48	△ 0.14	△ 5.02

【 世帯人員別一般世帯数の推移 】

世帯人員別一般世帯割合をみると、1人世帯が27.43%、2人世帯が31.11%で、合わせると58.54%となり、前回調査に引き続き総一般世帯の50%以上を占める結果となりました。

割合の推移をみると、1人世帯及び2人世帯の割合は上昇を続けていますが、3人以上の世帯については低下傾向が見られます。



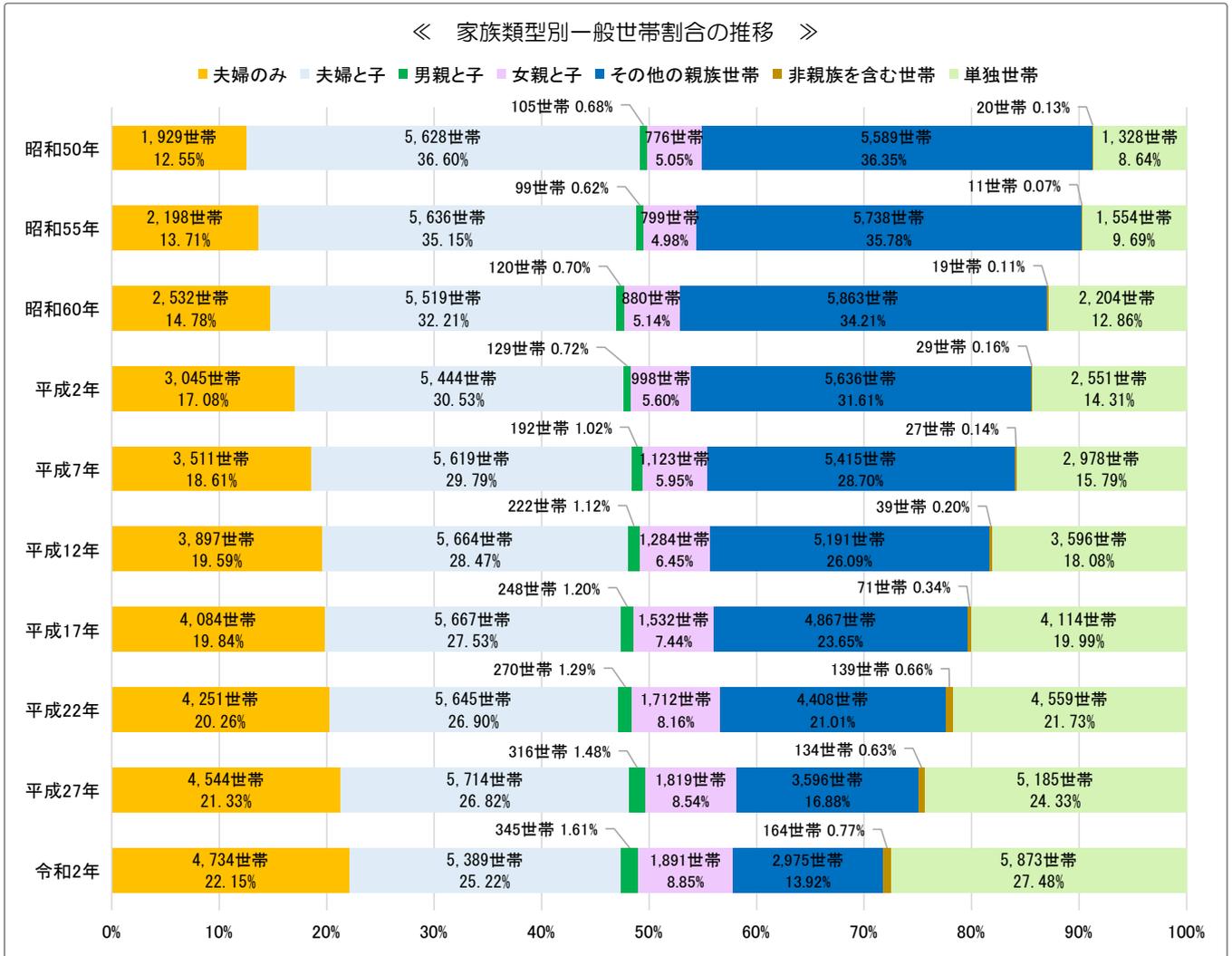
○世帯人員別一般世帯数の推移

年	世帯人員別一般世帯数（世帯）										
	総数	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上
昭和50年	15,375	1,328	2,567	2,732	3,476	2,346	1,602	877	305	96	46
昭和55年	16,035	1,554	2,848	2,887	3,479	2,283	1,644	926	306	80	28
昭和60年	17,137	2,204	3,272	2,919	3,500	2,339	1,596	922	292	70	23
平成2年	17,832	2,551	3,934	3,167	3,334	2,077	1,433	986	271	67	12
平成7年	18,865	2,978	4,528	3,420	3,427	2,027	1,312	845	266	52	10
平成12年	19,893	3,596	5,086	3,685	3,475	1,893	1,199	707	196	48	8
平成17年	20,583	4,114	5,494	3,989	3,420	1,712	1,058	567	160	40	29
平成22年	20,999	4,559	5,887	4,150	3,295	1,599	882	397	160	50	20
平成27年	21,314	5,185	6,327	4,139	3,037	1,502	648	306	118	41	11
令和2年	21,412	5,873	6,662	3,911	2,728	1,336	532	237	92	33	8

※一般世帯は寮・寄宿舎、病院等の施設等を除く世帯

【 家族類型別一般世帯の推移 】

一般世帯を家族類型別で見ると、親族世帯が15,334世帯で前回調査より655世帯（4.10%）の減、単独世帯が5,873世帯で688世帯（13.27%）の増となっています。その割合をみると、単独世帯が27.48%で前回より3.15ポイント上昇しており増加が続いています。



※割合は、世帯の家族類型不詳を除いて算出

○家族類型別一般世帯の推移

(単位：世帯)

年	一般世帯	親族世帯							非親族を含む世帯	単独世帯	再掲	
		総数	核家族世帯				その他の親族世帯	母子世帯			父子世帯	
			総数	夫婦のみ の世帯	夫婦と子 供から成 る世帯	男親と子 供から成 る世帯						女親と子 供から成 る世帯
昭和50年	15,375	14,027	8,438	1,929	5,628	105	776	5,589	20	1,328		
昭和55年	16,035	14,470	8,732	2,198	5,636	99	799	5,738	11	1,554	176	
昭和60年	17,137	14,914	9,051	2,532	5,519	120	880	5,863	19	2,204	206	
平成2年	17,832	15,252	9,616	3,045	5,444	129	998	5,636	29	2,551	233	
平成7年	18,865	15,860	10,445	3,511	5,619	192	1,123	5,415	27	2,978	227	
平成12年	19,893	16,258	11,067	3,897	5,664	222	1,284	5,191	39	3,596	260	
平成17年	20,583	16,398	11,531	4,084	5,667	248	1,532	4,867	71	4,114	313	
平成22年	20,999	16,286	11,878	4,251	5,645	270	1,712	4,408	139	4,559	326	
平成27年	21,314	15,989	12,393	4,544	5,714	316	1,819	3,596	134	5,185	379	
令和2年	21,412	15,334	12,359	4,734	5,389	345	1,891	2,975	164	5,873	306	

※一般世帯は寮・寄宿舎、病院等の施設等を除く世帯

※総数には、家族類型「不詳」含む

※母(父)子世帯は、未婚、死別又は離別の女(男)親と、その未婚の20歳未満の子供から成る一般世帯

(昭和55年調査から公表されているが、昭和55年及び60年調査での母子世帯及び父子世帯の女親又は男親には未婚が含まれない)

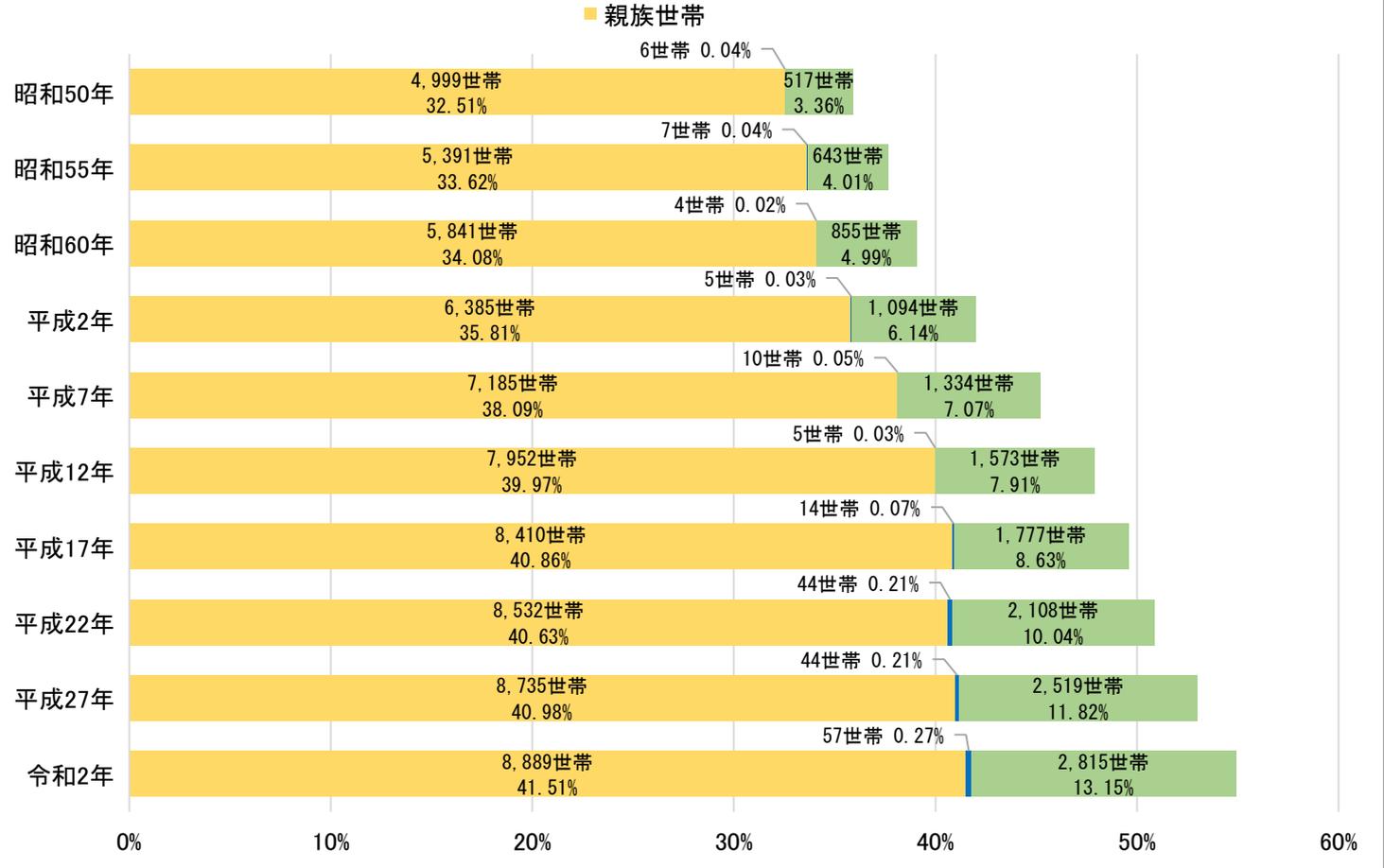
【 65歳以上の世帯員のいる一般世帯の推移 】

65歳以上世帯員のいる一般世帯数は11,761世帯で前回調査より463世帯（4.10%）の増となっており、総一般世帯の約55%を占めています。

65歳以上の1人のみの世帯数は2,815世帯で296世帯（11.75%）の増となっており、一般世帯に占める割合も増加を続けています。

夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦のみの世帯は3,256世帯で361世帯（12.47%）の増となっています。

《 一般世帯に占める65歳以上世帯員のいる世帯の割合の推移 》



〇65歳以上の世帯員のいる一般世帯、高齢夫婦世帯の推移

(単位：世帯)

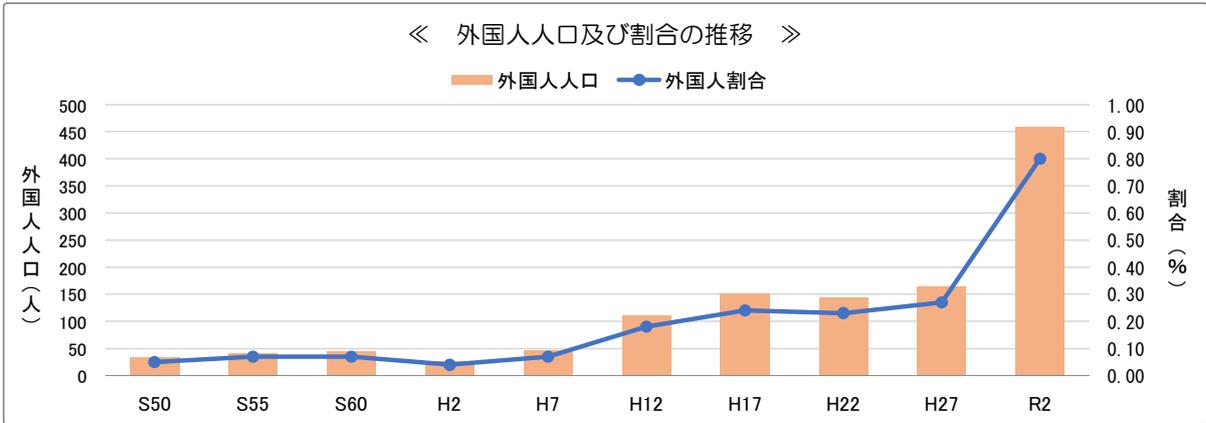
年	一般世帯	65歳以上世帯員のいる世帯						再掲		
		総数	親族世帯			非親族を含む世帯	65歳以上世帯員の単独世帯	夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯	75歳以上世帯員のいる世帯	85歳以上世帯員のいる世帯
			総数	核家族世帯	その他の親族世帯					
昭和50年	15,375	5,522	4,999	1,225	3,774	6	517			
昭和55年	16,035	6,041	5,391	1,414	3,977	7	643	680		
昭和60年	17,137	6,700	5,841	1,649	4,192	4	855	876		
平成2年	17,832	7,484	6,385	2,092	4,293	5	1,094	1,152	3,498	
平成7年	18,865	8,529	7,185	2,799	4,386	10	1,334	1,555	4,089	
平成12年	19,893	9,530	7,952	3,539	4,413	5	1,573	1,999	4,860	1,257
平成17年	20,583	10,201	8,410	4,197	4,213	14	1,777	2,279	5,780	1,613
平成22年	20,999	10,684	8,532	4,714	3,818	44	2,108	2,502	6,570	2,019
平成27年	21,314	11,298	8,735	5,575	3,160	44	2,519	2,895	6,685	2,322
令和2年	21,412	11,761	8,889	6,225	2,664	57	2,815	3,256	6,688	2,614

※平成7年以前の「85歳以上世帯員のいる世帯」、昭和60年以前の「75歳以上の世帯員のいる世帯」及び昭和50年の「夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの世帯」については、公表されていないため掲載していない。

【 外国人人口 】

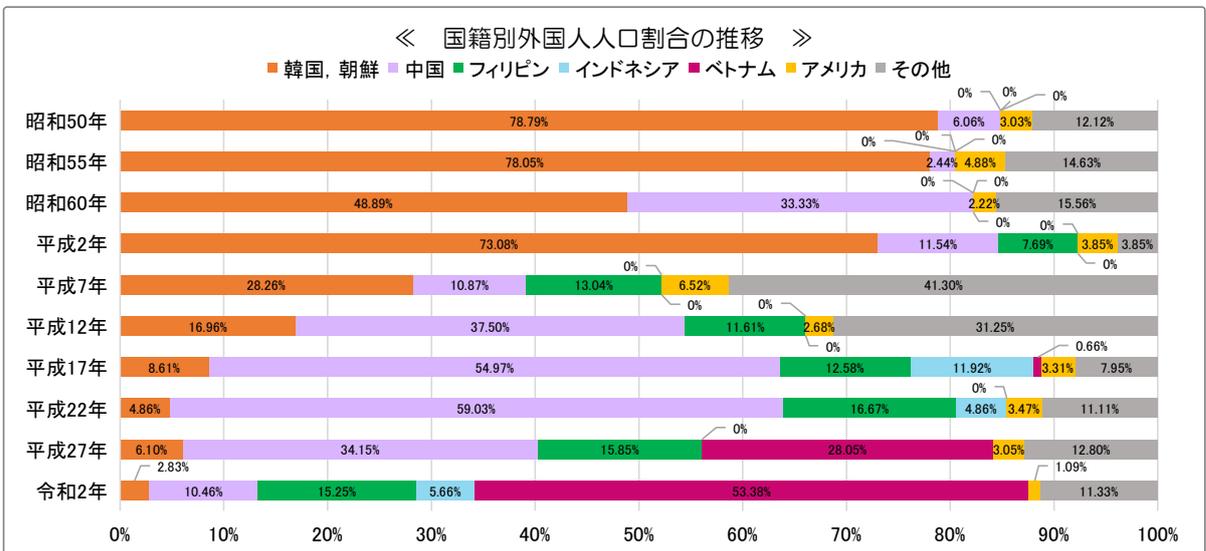
外国人人口は459人で前回調査に比べ295人（179.88%）の増となり、総人口に占める割合は0.80%で前回調査より0.53%の増となりました。

外国人人口の国籍別にみると「ベトナム」が245人（53.38%）で最も多く、半数以上を占めており、前回と比較しても199人（432.61%）増と急増しています。その他、「フィリピン」や「インドネシア」についても増加傾向が見られます。



○男女別外国人人口、割合の推移

年	総人口 (人)	外国人人口 (人)			外国人割合 (%)	外国人人口 前回からの 増減率 (%)
		総数	男性	女性		
昭和50年	61,448	33	18	15	0.05	・ ・ ・
昭和55年	62,412	41	21	20	0.07	24.24
昭和60年	63,662	45	26	19	0.07	9.76
平成2年	63,401	26	9	17	0.04	△ 42.22
平成7年	64,008	46	27	19	0.07	76.92
平成12年	63,968	112	27	85	0.18	143.48
平成17年	63,089	151	45	106	0.24	34.82
平成22年	61,878	144	33	111	0.23	△ 4.64
平成27年	59,756	164	36	128	0.27	13.89
令和2年	57,032	459	171	288	0.80	179.88



○国籍別外国人人口の推移

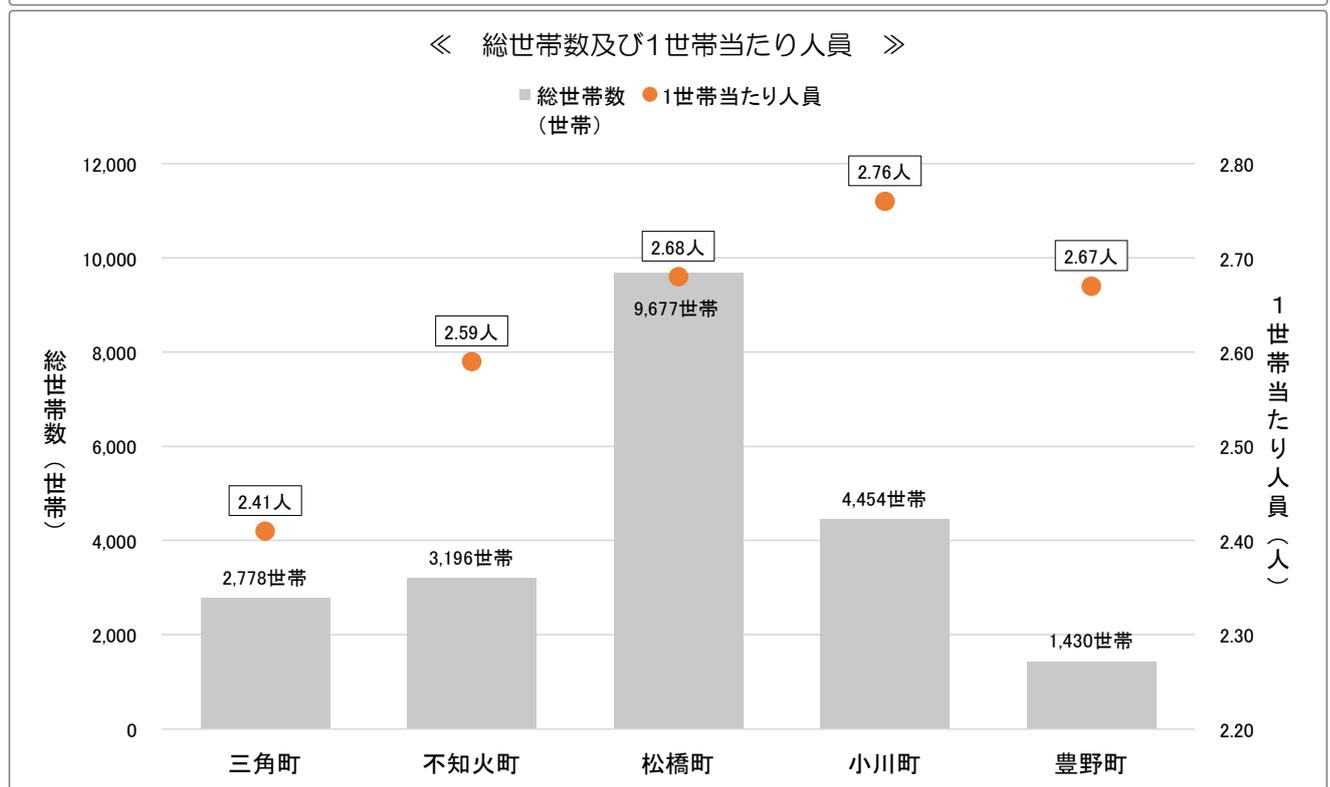
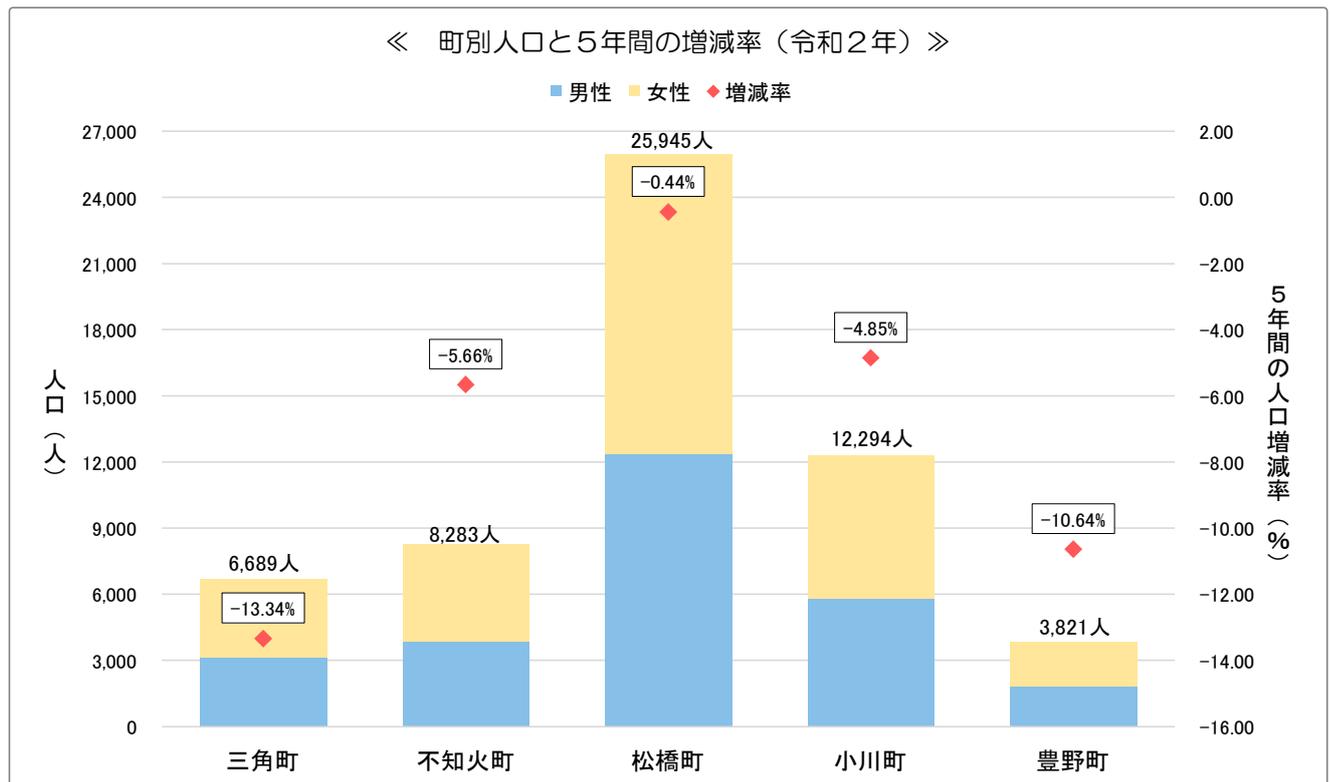
(単位: 人)

年	外国人	韓国, 朝鮮	中国	フィリピン	インドネシア	ベトナム	アメリカ	その他
昭和50年	33	26	2	—	—	—	1	4
昭和55年	41	32	1	—	—	—	2	6
昭和60年	45	22	15	—	—	—	1	7
平成2年	26	19	3	2	—	—	1	1
平成7年	46	13	5	6	—	—	3	19
平成12年	112	19	42	13	—	—	3	35
平成17年	151	13	83	19	18	1	5	12
平成22年	144	7	85	24	7	—	5	16
平成27年	164	10	56	26	—	46	5	21
令和2年	459	13	48	70	26	245	5	52

※その他には、無国籍及び国名不詳を含む

※「—」の国については、その他に含む

参考【 町別人口等と5年間の増減（令和2年） 】

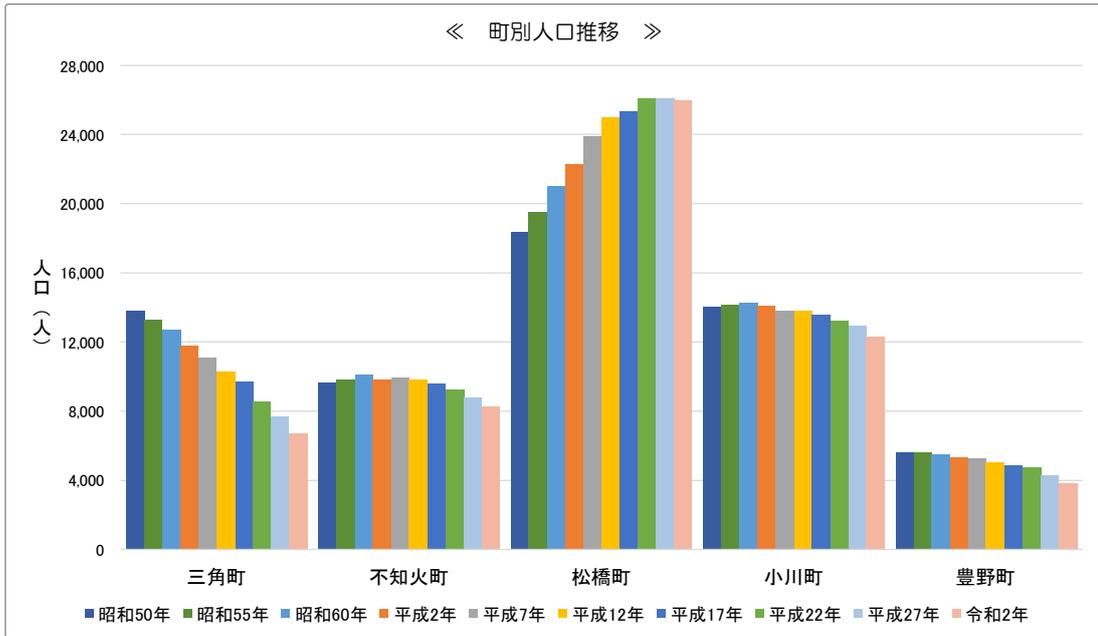


○町別人口と5年間の増減

	人口（人）			5年間の人口増減		総世帯数（世帯）	1世帯当たり人員（人）	面積（km ² ）	人口密度（人/km ² ）
	総数	男性	女性	増減数（人）	増減率（%）				
三角町	6,689	3,126	3,563	△ 1,030	△ 13.34	2,778	2.41	48.30	138.49
不知火町	8,283	3,869	4,414	△ 497	△ 5.66	3,196	2.59	28.83	287.30
松橋町	25,945	12,357	13,588	△ 115	△ 0.44	9,677	2.68	38.15	680.08
小川町	12,294	5,825	6,469	△ 627	△ 4.85	4,454	2.76	41.69	294.89
豊野町	3,821	1,814	2,007	△ 455	△ 10.64	1,430	2.67	31.54	121.15
宇城市	57,032	26,991	30,041	△ 2,724	△ 4.56	21,535	2.65	188.61	302.38

※町別の面積は、平成2年調査の集計で用いた面積を用いているため、合計しても宇城市の面積とは合致しません

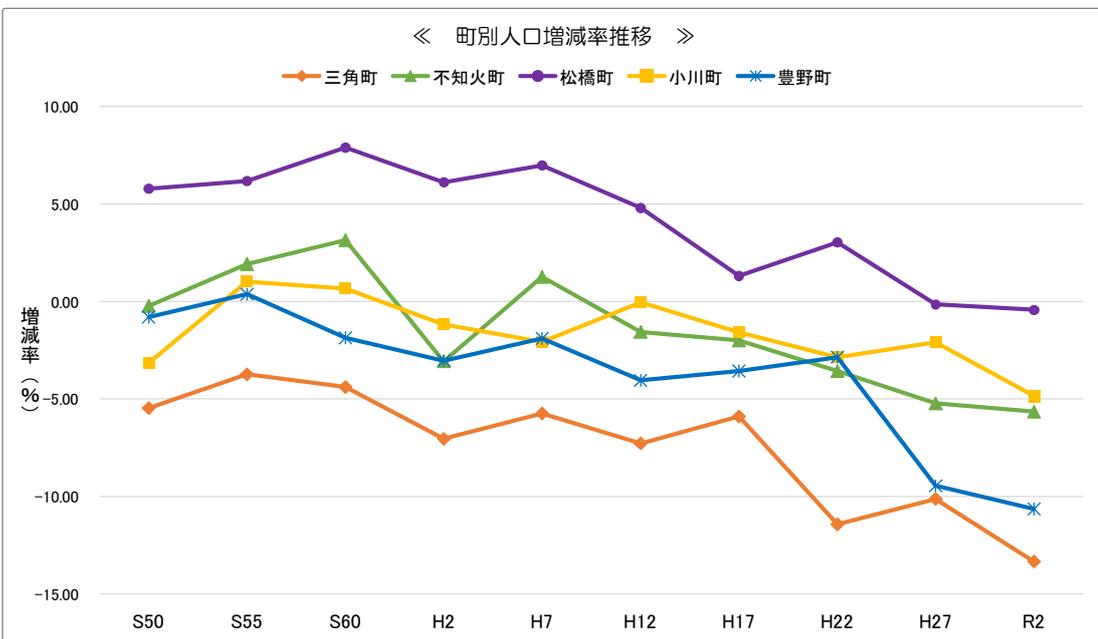
参考【 町別人口と増減率の推移 】



○町別人口の推移

(単位：人)

	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
三角町	13,787	13,271	12,687	11,792	11,114	10,305	9,697	8,589	7,719	6,689
不知火町	9,654	9,839	10,148	9,836	9,960	9,804	9,608	9,265	8,780	8,283
松橋町	18,360	19,492	21,029	22,311	23,867	25,010	25,335	26,103	26,060	25,945
小川町	14,039	14,181	14,274	14,106	13,813	13,808	13,588	13,199	12,921	12,294
豊野町	5,608	5,629	5,524	5,356	5,254	5,041	4,861	4,722	4,276	3,821
宇城市	61,448	62,412	63,662	63,401	64,008	63,968	63,089	61,878	59,756	57,032



○町別人口増減率の推移

(単位：%)

年	三角町	不知火町	松橋町	小川町	豊野町	宇城市
昭和50年	△ 5.48	△ 0.23	5.78	△ 3.15	△ 0.80	△ 0.51
昭和55年	△ 3.74	1.92	6.17	1.01	0.37	1.57
昭和60年	△ 4.40	3.14	7.89	0.66	△ 1.87	2.00
平成2年	△ 7.05	△ 3.07	6.10	△ 1.18	△ 3.04	△ 0.41
平成7年	△ 5.75	1.26	6.97	△ 2.08	△ 1.90	0.96
平成12年	△ 7.28	△ 1.57	4.79	△ 0.04	△ 4.05	△ 0.06
平成17年	△ 5.90	△ 2.00	1.30	△ 1.59	△ 3.57	△ 1.37
平成22年	△ 11.43	△ 3.57	3.03	△ 2.86	△ 2.86	△ 1.92
平成27年	△ 10.13	△ 5.23	△ 0.16	△ 2.11	△ 9.45	△ 3.43
令和2年	△ 13.34	△ 5.66	△ 0.44	△ 4.85	△ 10.64	△ 4.56